

200802002B

厚生労働科学研究費補助金

政策科学総合(統計情報総合)研究事業

漢方医学の証に関する分類の妥当性検討

平成19年度～20年度 総合研究報告書

研究代表者 渡辺 賢治

平成21(2009)年 4月

目 次

I. 総合研究報告	
漢方医学の証に関する分類の妥当性検討-----	1
渡辺賢治・石野尚吾、崎山武志、米田該典	
II. 研究成果の刊行に関する一覧表	7
III. 資料1	WHO/WPRO対応証のコード化
資料2	WHO/WPRO作成 ICTM EA アルファ版
資料3	WHO-FIC年次総会での発表資料
資料4	2008年 WHO・WPRO会議日程
資料5	2008年 WHO・WPRO会議資料 WHO本部会議での報告
資料6	2009年WHO本部会議資料

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合（統計情報総合）研究事業）
（総合）研究報告書

漢方医学の証に関する分類の妥当性検討

主任研究者	渡辺賢治	慶応義塾大学医学部漢方医学センター・センター長
分担研究者	石野尚吾	日本東洋医学会会長
分担研究者	米田該典	日本東洋医学会副会長
分担研究者	崎山武志	日本東洋医学会理事

研究要旨

本研究は漢方医学独特の診断方法である「証」に関する分類を確立し、国内外における伝統医学統計情報の基盤を作ることを目的とした。平成19年度は、日中韓豪を中心としたWHO西太平洋地域事務局（WHO/WPRO）の活動として、東アジア伝統医学分類（ICTM EA）アルファ版を作成した。本分類には日本で用いられている漢方医学の「証」が盛り込まれている。2007年のWHO-FIC会議にてICDの関連分類とすることが認められた。ベータ版作成に当たり、検証作業が必要であり、日本での作業を推進するためのコンピューターベースのプラットフォームを作成した。2009年3月にはWHO/WPROからWHO本部の事業として引き継がれることが決定した。国内では2008年、日本東洋医学会ならびに東洋医学サミット会議にて日本での漢方証コードを作成したので、それを元に証コードのルールについてまとめたパンフレットを作成した。

分担研究者

石野尚吾	（日本東洋医学会 会長）
米田該典	（日本東洋医学会 副会長）
崎山武志	（日本東洋医学会 理事）

A. 研究目的

漢方医学独特の診断方法である「証」に関する分類を確立し、国内外における伝統医学統計情報の基盤を作る。

B. 研究方法

1. 証コードの検討と東アジア伝統医学疾病コードとのハーモナイゼーション

- 平成18年度に作成した漢方コードを再度見直し、検討する。また、英訳作業を完結し、WHO/WPROに送った。
- 上記漢方コードと中国、韓国の疾病コードを合わせた東アジア伝統医学コードを、日中韓を中心とするWHO西太平洋地域事務局のワーキンググループ（議長 渡辺）で作成した。
- WHO国際分類に関する国際的権威及び行政担当者との打ち合わせを行った。
- 上記東アジア伝統医学コードを日本に持ち帰り、日本東洋医学サミット会

議（日本東洋医学会、和漢医薬学会、日本生薬学会、全日本鍼灸学会、北里大学WHO伝統医学協力センター、富山大学WHO伝統医学協力センターのわが国の伝統医学関連6団体から成る会議体）で再度検討し、日本側の意向が反映されているかどうかを確認し、WHO/WPROにフィードバックした。

- 上記東アジア伝統医学コードをWHO-FIC（国際分類ファミリー）会議にてプレゼンテーションした。

2. 証の検証作業のためのプラットフォーム作成

証に関する分類を進めて行くと同時に、「証」そのものの妥当性について検討することなしには最終的な本の妥当性の検証及び、妥当な分類の確保はできないと考える。

分類側の視点から、改めて分類の元となった証に立ち返ったところ証そのものについて、概念上のぶれがあることが明らかとなり、証における概念上のぶれによって分類にもぶれが生じることが懸念される。

このことは漢方が長い歴史の中の経験知であり、厳格な定義づけなしに今日に至っていることがその原因である。

ついては「証」そのものの妥当性の検証が可能となる方法論についても検討を加える。

3. 証コードの検討と東アジア伝統医学疾病コードとのハーモナイゼーション

WHO/WPRO で主催の会議の席で、2007年度にWHO/WPRO で作成し、WHO-FIC 会議で原則関連分類にする方向で検討されている東アジア伝統医学分類 (ICTM-EA) に関して今後どのように進めるのかについて検討する。

4. WHO本部における今後のICTM EAの扱いについて

今まではICTM EAはWHO/WPROで進めてきたが、東アジア伝統医学の広がりには西太平洋地域に止まらず、欧米で幅広く用いられているため、WHO本部の懸案として継続したい意向がWHO本部から為され、WHO/WPROとの調整が必要となった。

5. 証のコードの決定とコーディングルールの検討

海外での動向と連動する形で国内における証コードを決定する必要性があり、その作業を行う。特に平成18年度の統計情報研究 (特別研究) で行った証に関する専門家アンケートの結果を受けて、コードしやすい分類を作成する必要があり、検討した。

(倫理面への配慮)

統計情報収集の際にも個人情報を持ち込まないため、特に該当しない。

C. 研究結果

1. 証コードの検討と東アジア伝統医学疾病コードとのハーモナイゼーション

2006年11月に開催されたWHO-FIC年次総会にて、ICTM EAを今後この会議体で継続的に審議していくことが決定された。2007年3月に東京で開催されたWHO西太平洋事務局主催の「ICTM EAに関する会議」では

1. ICD-10と東アジア伝統医学用語集 (IST) とのマッピングに関する各国レポートを見直す。

2. ICEATM (ICTM EA) が WHO-FICの関連分類または派生分類に成りうるかを検討する。

ことを目的として3日間の議論が行われた。

その結果

1. 分類名を ICTM/WPROとする案をWHO/WPROに審議してもらう。

2. 10月にイタリア・トリエスタで行われるWH-FIC会議までにアルファ版を作成する。

3. アルファ版の構成としては

① Syndromes and patterns from IST

② Clinical conditions from IST

とすることが決定された。ここにあるISTとはinternational standardization of terminologyの略であり、本作業はWHO西太平洋地域事務局を中心に2002年から日中韓を中心に東アジア伝統医学の用語の標準化を図る作業で、2007年8月にWHOから出版され、Web上でも閲覧、ダウンロードが可能である。

4. ICTM EAの構成は既に韓国で用いられている伝統医学 (韓医学疾病分類 (Korean classification of diseases/Oriental Medicine (KCDOM)) に準拠することにする。

5. ICTM EAを最終的にICDの派生分類にするか関連分類にするかについては引き続き検討していく。

6. まずは英文で作成し、自国語訳を用いてベータ版のためのパイロット検討をする。

7. 構造については現行の ICD-10を参照して決定する。

8. ICTM/WPRO はそれ自体が独立した構造を取るようにする。

9. ICTM/WPRO は印刷物および電子ファイルとする。

10. ICTM/WPRO における用語でICD-10と1:1対応するものはなるべくマッピングさせる。

11. ICD-10コードと区別するために "TM" というコードを初めにつける (ベトナムと同様の形式)

以上が結論となった。

2008年4月に小田原で行われたWHO - 国際分類ファミリー会議のビジネスプラン会議でもICTM EAが討議され、今後ともビジネスプランとして継続議案としていくことが決定された。

こうした動きを受けてWHO西太平洋地域事務局において日中韓オーストラリアの代表がインターネット上で情報交換をしつつICTM EAアルファ版の作成に向けて準備を進めた。

こうしたWHO側の動きを受けて日本の対応団体である日本東洋医学サミットで、日本側が対応すべき「証」分類につき検討を加えた。

本分類は基本的には2006年度に作成した分類とほぼ同じであるが、2007年3月のWHO西太平洋地域事務局会議にてIST(東アジア伝統医学標準用語集)に準拠することが決定したため、再度見直しを行った。

日本側のものを8月中旬に提出を行い、ICTM EAアルファ版を決定するために8月26日から28日までオーストラリアのブリスベンにて会議を行った。

参加者は以下の通りである。
CHOI Seung-Hoon (WHO西太平洋地域事務局)
渡辺賢治 (日本)
SHIM Bumsang (韓国)
PARK Kyungmo (韓国)
XUE Charlie (オーストラリア)
ROBERTS Rosemary (オーストラリア)

当初参加予定であった中国のYIN Ainingはビザの関係で不参加となった。上記6名のメンバーで3日間に亘りICTM最終版作成のための会議が行われた。

骨格を作成したのは韓国慶熙大学のSHIMであった。課題となっていたICD-10とのマッピング作業は困難を極めた。また当初ICD準拠のコーディング構造を予定していたが、この会議においてICD準拠のコーディングは困難であると判断し、IST準拠のコーディング構造とすることが決定された。また、日本側が要望していた腹診所見などの症候・所見は当初ICD準拠のRコードとすることが検討されたが、IST準拠のコーディングに組み直したため、TMコードのMコードとなった。こうしてICTM/WPROのアルファ版0.95を作成した。

2007年WHO-FIC年次総会はイタリアのトリエステにて行われた。本会議にはWHO西太平洋地域事務局のICTMワーキンググループの代表として渡辺(日本)、SHIM(韓

国)、Rosemary Roberts(オーストラリア)が参加した。

本会議体にはいくつかの委員会が存在するが、ICTMについての検討を行う部会にはfamily development committee (FDC)である。ICTM/WPROは本委員会で、討議されたが、WHO西太平洋地域事務局としては国際疾病分類ファミリーの関連分類として認めてもらうことを発議した。これに対し、FDCでは概ね好意的に受け入れられ、原則として関連分類として認めることが決定された。しかしながらICTM EAアルファ版のICDとのマッピングにおいていくつかの不備を指摘され、2008年1月までにそれを修正してFDCに提出し、それに対して3月までにFDCのメンバーが意見を述べ、最終的には4月のWHO-FICプランニング会議にて承認するというスケジュールが決定された。

また、名称はICTM/WPROではなく、ICTM EA (international classification of Traditional Medicine East Asia)の方が好ましい、という意見が出て、それで決定された。

WHO西太平洋地域事務局のICTM EAワーキンググループで討議した結果、ICD-10との1対1マッピングは不可能という結論に至り、すべてのマッピングをはずした形で再提出し (ICTM EA アルファ版 version 0.96)、それに対しては好意的意見を受けた。

2. 証の検証作業のためのプラットフォーム作成

わが国での証の検証作業を行うためにコンピュータシステム上で簡単に入力できるものを考えた。

構成としては

1. 虚実 (必須項目)
2. 寒熱 (必須項目)
3. 六病位 (急性疾患の場合)
4. 気血水 (慢性疾患の場合)
5. 腹診

という項目で入力する画面を試作した。

3. 証コードの検討と東アジア伝統医学疾病コードとのハーモナイゼーション

1. 2008年6月24-26日に韓国ソウルでWHO/WPROの会議が開催され、WHO-FICの動きとWHO本部でのICTM EAの取り扱いにつ

いての報告があった。それによると東アジア伝統医学は世界中で用いられており、特に欧米で広がっている。WHO/WPROだけで検討する課題ではなくなっているため、今後はWHO本部の検討課題とする。しかしながら実務に関してWHO/WPROでの活動を継続する。

2. ICTM EA に関してはアルファ版ができているが、各国の政府関係者、専門家に回覧し、意見を募る。

3. 検証作業についてはICDとのダブルコーディングも考えられるが、香港などでは中醫師が西洋病名であるICDをコードすることが不可能であり、また西洋医学会からの反発もあり得るとのことで、ICTM EA のみのコーディングを行うこととする。

4. WHO本部における今後のICTM EAの扱いについて

2008年4月14日～16日にスイス・ジュネーブにてWHO-FICの諮問委員会が開催された。2007年11月のイタリア・トリエステにおけるWHO-FIC会議ではICTM EAを関連分類に入れることが原則認められたが、WHO本部の承認が得られないとのことで、正式な承認は見送られた。その背景として、上記のように既に東アジア伝統医学に関する諸問題はWHO/WPROの扱う範囲を超えていて、今後はWHO本部で扱うことが決定された。その手始めとしてWHO本部主催の伝統医学会議を行うこと方針が示され、2008年11月のインド・デリーにおけるWHO-FIC会議と一緒に開催するはずであったが、インド政府の支援が得られず実現しなかった。

その後中国がISOの医学用語を扱うISO/TC215のワーキング・グループ3に中医学分類を申請したことが判明した。中国の意図は日韓とは協調せずに中国のものを世界標準化にしようという意図であり、WHOのICTM EAとは競合する。提出したのは国家の研究所である中国中医学アカデミーである。そこで、WHO側と中国政府との話し合いが必要が生じた。

11月7-9日に中国・北京にて伝統医学が盛り込まれたアルマータ宣言から30周年を記念して世界の伝統医学の代表が一同に介する会がWHO本部の主催で開催された。その会期中に中国政府、WHO本部、WHO・WPRO、中国政府関係者が一同に介する機会があり、一応中国政府もWHOの活動に協力する

意向を示した。11月8日(土)9時半から1時Jiu Hua Resort 2階会議室75参加者；WHO HQ ZHANG Xiaorui, USTUN Bedirhan, 中国中医中薬管理局(衛生部の下部組織) ZHANG Qi国際部長, SHENG Sang Bin Deputy director-General (Department of Policy, Regulation and Supervision)、湖北中医学院MAO Shusong, XIE Dan, WPRO members LEE Soojin, XUE Charlie LIM ByungMook, LIU Liung, WATANABE Kenji, WHO-FIC collaborating center in China, Dr. Que, Dr. Dong

1. Zhang Xiaoruiから国際標準の必要性についての説明

2. Dr. Ustunのプレゼン45分

3. 湖北中医学院(政府の指導で診療情報の仕事をしているとのこと) MAO Shusong Professorのプレゼン

4. SATCM側からいかにいままでも標準化を中国は一貫してやってきたかの説明

Dr. Ustunのプレゼンは如何に伝統医学の国際的分類が必要かを強調。湖北中医学院のDr. MAOも一生懸命分類の仕事をやってきたのだが国際的なものはないので、それが必要。といういい流れで話が進んできたが、SATCMが、如何に中国が素晴らしいものを作ってきたかについて強調し始めたところでこじれてきた。しかしながら議論を進める中で、

1. 国内分類は国際分類にならないこと、国際分類にする場合には西洋医学の医師からもわかりやすいものにする必要性があることが確認された。

2. WPROで作成したICTM EAは無駄にはせず、それをもとに進める。

3. 5月に香港で会議を行うが、時間を無駄にしないため、1ないし2月にジュネーブで会議を行うかもしれない。

4. ICD-11への改訂は2015年ではなく、2014年になったことが発表された。どうにかそれに間に合うようにお互い協力することが確認された。

その後2009年3月16-18日にWHO本部(ジュネーブ)でICD担当者と伝統医学担当者が主催した会議の結果、東アジア伝統医学分類をICD-11に組み入れるかどうかの検討をWHO/WPROからWHO本部の案件とすることが決定された(詳細は添付資料参照)。

5. 証のコードの決定とコーディングルールの検討

WHOの動向と呼応する形で、国内の証のコードを整備した。2008年9月23日に日本東洋医学会事務局にて日本東洋医学サミット会議（日本東洋医学会、和漢医薬学会、日本生薬学会、全日本鍼灸学会、富山大学医学部WHO伝統医学協力センター、北里大学東洋医学総合研究所WHO伝統医学協力センターの六団体）の席にて証のコードについて検討し、決定した（別紙）。

1. 陰陽
2. 虚実
3. 寒熱
4. 表裏
5. 六病位
6. 気血水
7. 腹診

上記に対するコーディングルールも案として盛り込み、冊子にした。

D. 考察

ICTM EAの名称および内容には大きな変遷があった。当初はなるべくICDに近い構造化を図ったが、病理学を重視して構造が決定されているICDと、症状、症候を重んじてきた東アジア伝統医学の間には大きな概念的ギャップがある。

ICD-10には病理診断のつかない症候を表わすコードを集めたRという章がある。当初はそのことのマッピングも試みたが完全には一致しないことが多く、最終的には1対1のマッピングはあきらめざるを得なかった。

例えば「霍乱（かくらん）」というのは水様性下痢のはなはだしいもので、コレラとはほぼ同義で用いているが、伝統医学用語では起因菌の同定をしていないため、西洋医学でいうところの病理学的なコレラとは異なる。同様に「消渴（しょうかち）」というのは糖尿病とはほぼ同義であるが、高血糖が原因かどうか不明なため同じとは扱えない。

このようなズレからマッピング作業は最終的にあきらめざるを得なかった。

マッピングができなかった場合何が問題かということ、日本以外の国々（中国、韓国、オーストラリアなど）では伝統医師の免許は西洋医学の免許とは異なるために、もしもICTM EAコードを用いて疾病分類コードを行った場合、本来ICDで行われるべきコー

ドが伝統医学のコードのみ付与され、ICDコードが欠落する可能性がある。その場合WHO側のICDを人口の多いアジア地域にも広めたい、という思惑とは異なった方向になることもあり得る。今後の検討課題である。

一方患者の状態を診断する伝統医学的考えである「証」は西洋医学にないユニークなものなので、ICD本体に入った場合、特に問題は生じない。今回の日本側の対応として日本は40ほど、中国韓国は北京で作成したものが1624あり、これに足して2300のコードのものが試験的に中国国内で統計情報として集積されている。

日本漢方は江戸時代に中国の理論を排除するところから始まっているので、伝統医学的診断手法である証の数が少ないのである。医療情報時代になった場合、煩雑なコーディングシステムはかえって統計情報収集を妨げることになることもあり、日本モデルを推進していくことが重要である。

将来のわが国のコーディングの実際としては、伝統医学である漢方が西洋医学と一体化しているので、伝統医学病名の代わりに西洋医学病名のコードであるICDと、漢方の証コードとのダブル・コーディングが実務的と考える。

ICD-11への改訂では、疾病コードのみならず、用語とリンクすることが決定されているが、東アジア伝統医学標準用語集が、2007年8月にWHOから出版されたことは、大きなメリットであった。ICTMの作成段階においても、2008年3月のWHO/WPRO東京会議の席で、アルファ版の作成にはISTを元とする、という合意が得られていたため、日中韓豪における共同作業もスムーズに進んだ。

2009年3月のジュネーブにおける会議で、東アジア伝統医学分類のプロジェクトは、WHO/WPROのレベルからWHO本部のレベルへと推進母体が移行することが決定した。

今後はアルファ版の確定および検証、ベータ版の作成、さらにICD-11への改訂と歩を合わせた情報モデルの作成を行い、将来的にICD本体に入れ、派生分類としたいと考える。

日本での検証作業のためのコンピューター入力画面の試作を作成したので、実際にコーディングしていく予定である。

E. 結論

東アジア伝統医学分類（ICTM EA）のアル

ファ版がWHO西太平洋地域事務局を中心として、日中韓豪で作成したが、そこと連携する形で日本漢方の証コードを作成した。今後WHO本部中心にWHO/WPROが実務を担い、ICTM EAの検証作業が推進される予定であるが、わが国においても漢方の証コードの検証をし、その結果を踏まえてICTM EAに対する日本の貢献をすることが望ましい。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- ① 渡辺賢治：21世紀の日本の東洋医学の進路を探る 漢方の国際化に向けての戦略，日本東洋医学雑誌58(4) 594-599, 2007
- ② 渡辺賢治：伝統医学に国際的な関心 Japan Medicine 1208:1, 2008 1.11
- ③ 渡辺賢治：WHO東アジア伝統医学疾病分類と漢方の疾病分類 平成19年度厚生労働研究統計情報総合研究講演会抄録集 98-117, 2008 恩賜財団母子愛育会 東京
- ④ 崎山武志、石野尚吾、渡辺賢治、Plotnikoff GA、許鳳浩、Froehlich C、Pflueger K、柳澤紘：なぜ、今、日本漢方か 世界各国の医師が日本漢方を選ぶ理由と自国の事情あるいは普及 日本東洋医学雑誌：60:99-108, 2009

2. 学会発表

- ① Watanabe K, Sakiyama T, Ishikawa T, Oikawa E, Shuto K and Ishino S: International Classification of Traditional Medicine Western Pacific Regional Office (WHO/WPRO) Japanese Kampo. Classification meeting of the WHO collaborating centres for the family of international classifications. 2007. 10/28-11/3, Trieste Italy
- ② 渡辺賢治：世界に広がる東アジア伝統医学，第58回日本東洋医学会学術総会，2007. 6
- ③ 秋山光浩：日中韓の伝統医学用語の比較 慶應義塾大学医学部自主学習発表会 2007年11月 東京
- ④ 渡辺賢治：WHO東アジア伝統医学疾病分

類と漢方の疾病分類 平成19年度厚生労働研究統計情報総合研究講演会「厚生労働統計における展望について」

2008/2/1 東京

- ⑤ 渡辺賢治：東アジア地域における伝統医学のハーモナイゼーション 診療情報のハーモナイゼーション 第59回学術総会 2008年6月 仙台
- ⑥ 渡辺賢治：今後の医療への漢方の貢献と診療情報の国際的協調 科学技術振興機構中国総合研究センター第12回研究会講演録
http://www.spc.jst.go.jp/trend/hottopics/kouenroku_081117_2.html (2009 1月アクセス)
- ⑦ 渡辺賢治：伝統医学に関する診療情報からのデータマイニングの試み 第7回医療情報研究会 2009/1/19 東京
- ⑧ 渡辺賢治：WHO東アジア伝統医学の疾病分類と漢方の疾病分類 一平成20年度厚生労働科学研究統計情報総合研究講演会「厚生労働統計の直面する課題とその解決に向けて」 恩賜財団母子愛育会 2009. 1. KDDIホール、東京

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

漢方証コードのパンフレットを発刊した。

別添 4

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
渡辺賢治、石野尚吾、崎山武志		渡辺賢治	漢方の証コード	アシステ	東京	2009	1-26
渡辺賢治	WHO東アジア伝統医学疾病分類と漢方の疾病分類	恩賜財団母子愛育会	平成19年度厚生労働研究統計情報総合研究講演会抄録集	恩賜財団母子愛育会	東京	2008	98-117

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
崎山武志、石野尚吾、渡辺賢治、Plotnikoff GA、許鳳浩、Froehlich C、Pflueger K、柳澤紘	なぜ、今、日本漢方か 世界各国の医師が日本漢方を選ぶ理由と自国の事情あるいは普及	日本東洋医学雑誌	60 (1)	99-118	2009
渡辺賢治	伝統医学に国際的な関心	Japan Medicine、	1208	1	2008 1. 11
渡辺賢治	21世紀の日本の東洋医学の進路を探る 漢方の国際化に向けての戦略	日本東洋医学雑誌	58 (4)	594-599	2007

	English	Han Character	IST code	IST word	ICD10 code	ICD10 word English
1	yin and yang	陰陽				
	yin pattern	陰證	2.5.2			
	yang pattern	陽證	2.5.3			
	yin-yang disharmony	陰陽錯雜	1.7.14			
	deficiency and excess	虛實	1.7.85			
2	deficiency pattern	虚證	2.5.67			
	excess pattern	實證	2.5.68			
	deficiency- excess complex	中間證	1.7.88			
	six stages of disease transformation	六病証				
	greater yin disease	太陰病	2.11.12			
3	lesser yin disease	少陰病	2.11.15			
	reverting yin disease	厥陰病	2.11.19			
	direct shao yin stage	直中の少陰				
	greater yang disease	太陽病	2.11.2			
	lesser yang disease	少陽病	2.11.10			
	yang brightness disease	陽明病	2.11.7			
	simultaneous three yang	三陽合病	1.7.90			
	transmuted pattern	壞證				
	qi, blood, fluid	氣・血・水	1.2.57			
	4.1	qi abnormality	氣の異常			
qi deficiency		氣虚	2.7.2			
qi depression		氣鬱	2.7.11			qi movement stagnation
qi stagnation		氣滯	2.7.4			
qi reflux		氣逆	2.7.5			qi counterflow
4.2	blood abnormality	血の異常				
	blood deficiency	血虚	2.7.21			
	OKETSU, stagnant blood	瘀血	2.7.23			static blood
	blood heat	血熱	2.7.25			
	dual deficiency of qi and	氣血兩虚	2.7.20			
4.3	fluid abnormality	水の異常				

資料1 漢方の証コード

	water retention	fluid disturab ance	水毒						
	fluid reflux		水逆						
	humor collapse		亡津液	2.8.4					
5	four examinations		四診	2.8.5	fluid collapse	E86			Volume depletion
5.1	tongue diagnosis		舌診	2.0.14					
	yellow fur		黄苔	2.1.39					yellow fur
	black fur		黒苔	2.1.84					black fur
	white fur		白苔	2.1.85					white fur
	mirror tongue		鏡面舌	2.1.82					
	teeth-marked tongue		齒痕舌	2.1.65					teeth marked
5.2	pulse diagnosis		脈診	2.1.62					
	floating pulse	shallow pulse	浮 (浮脈)	2.4.29					
	sunken pulse	deep pulse	沈 (沈脈)	2.4.30					
	rapid pulse	rapid pulse	數脈	2.4.32			R00.0		Tachycardia, unspecified
	slow pulse	slow pulse	遲脈	2.4.31			R00.1		Bradycardia, unspecified
	vacuous pulse		虚脈	2.4.35		vacuous pulse			
	replete pulse		實脈	2.4.36					
	normal pulse		平脈	2.4.14					
	skipping pulse		結滯あるいは 不整脈	2.4.56					
5.3	abdominal diagnosis		腹診						
	fullness in the chest and hypochondrium		胸脇苦滿	2.3.161					
	oppression in the chest		結胸	2.3.156					
	splashing sound		振水音	2.2.23					

資料1 漢方の証コード

	palpitations above the umbilicus	also means palpitation	腹部動悸	2.3.1664			
	palpitations beside the			2.3.165			
	palpitations below the			2.3.166			
	lower abdominal fullness		小腹鞭滿	2.3.162		lower abdominal fullness	
	lower abdominal numbness	lower abdominal muscle	小腹不仁	2.3.163			
	lower abdominal cramp	lower abdominal registance and tenderness		2.3.160			
	lower abdominal contracture		小腹急結	2.3.161			
	rectus muscle tension		腹裏拘急				
	tightness below the heart		心下支結	2.3.149			
	stiffness and rigidity below the heart		心下痞硬	2.3.150			
	epigastric tightness and mild epigastric resistance		心下痞堅	2.3.154		stiffness and rigidity below the heart	
			心下濡				
	SEICHUSHIN	palpable thin line of linea alba	正中芯				
	supraumbilical tenderness		臍痛点		R10.4	Other & unspec abdominal pain	
	borborigmus		腸鳴	2.2.22	R14	Flatulence & related conditions	
6	general signs		全身徴候				
	fever		熱	2.3.3	R50.9	Fever, unspecified	
6.1	alternating chills and fever		往來寒熱	2.3.28	R50.0	Fever with chills	

資料1 漢方の証コード

	true cold with false heat		眞寒假熱	1.7.83			
	upper body heat and lower body cold		上熱下寒	1.7.80			
	aversion to cold		惡寒	2.3.4		R68.8	Other specified general symptoms and signs
	heat vexation		煩熱	2.3.23			
	heat in the palms and soles		手足煩熱	2.3.25			
	HIESHO excessive sensitivity to cold		冷証				
	reversal cold of the		手足煩熱	2.3.26			
	sweating signs		発汗異常				
6.2	absence of sweating		無汗	2.3.44		L74.4	Anhidrosis
	spontaneous sweating		自汗	2.3.33			
	night sweating		盗汗	2.3.34		R61.9	Hyperhidrosis, unspecified
	sweating from the head		頭汗	2.3.38			
6.3	head and neck signs		頭頸部症状				
	stiffness of the neck		項強、頸項強	2.3.58			
	headache and stiff neck		頭項強痛	2.3.59			
	headache and painful stiff		項背強	2.3.59			stiffness of the neck
	heavy-headedness		頭冒	2.3.60		R42	Dizziness and giddiness
	dizziness		めまい	3.1.63		F05.9	Delirium, unspecified
	delirious speech		譫語	2.2.10			
6.4	eye signs		眼症状				
	unfocused eyes		睛不和			H53.8	Other visual disturbances
	coughing exophthalmos		目如脱状			H05.2	Exophthalmic conditions
6.5	oral signs		口腔症状				
	bitter taste in mouth		口苦	2.3.121			
	dry mouth		口乾	2.3.115		R68.2	Dry mouth, unspecified
	trismus		口噤			R25.2	Cramp and spasm
	sialorrhea		喜唾			K11.7	Disturbances of salivary secretion
	numbness in the mouth		口不仁	2.3.126		R43.2	Parageusia
	belching		噯・噯氣	2.3.139		R06.6	Hiccough
	discomfort in the throat		咽喉不利	2.3.128			

資料1 漢方の証コード

6.6	chest signs	呼吸器症状						
	phonopathy	發聲異常						
	cough	欬、咳嗽	3.1.39			R05		Cough
	cough with dyspnea	咳逆上氣 (咳逆)	2.2.21			R06.0		Dyspnoea
	dry cough	乾咳	3.1.40					
	wheezing and dyspnea	哮喘	3.1.43			R06.2		Wheezing
	wheezing	喘	3.1.44			R06.2		Wheezing
	phlegm rale	痰喘	2.2.20					
	shortness of breath	短氣	3.1.50			R06.0		Shortness of breath
	shortage of qi	少氣	3.1.51					
	chest impediment	胸痺	3.1.58					
	chest discomfort	胸滿						
	pleural fluid retention	懸飲	3.1.151			J90		Pleural effusion, NEC
	chest bind	結胸	3.1.59	chest bind				
6.7	heart signs	胸部症状						
	paraumbilical and hypochondriac aggregation	痞癖	2.3.158					
	chest pain	心痛	2.3.63			R07.4		Chest pain, unspecified
	anxiety	憂	1.6.68			F41.9		Anxiety disorder, unspecified
	vexation of deficiency type	虚煩	2.3.145			R53		Malaise and fatigue
	vexation	心煩	2.3.144					
	anguish in the heart	心中懊憹	2.3.146					
	mild irritability	微煩						
	orthopnea	倚息				R06.0		Orthopnoea
6.8	psychiatric signs	精神症状						
	agitation	煩燥	2.1.10			R45.1		Restlessness and agitation
	disquieted heart qi	心氣不寧	1.7.141			R45.1		Restlessness and agitation
	temper	肝積						
	forgetfulness	喜忘	3.1.75			R41.3		Other amnesia
	insomnia	不寐	3.1.74			G47.0		Other amnesia
6.9	urological signs							
	polydipsia	引飲				R63.1		Polydipsia

資料1 漢方の証コード

	thirst	口渴	2.3.116	R63.1	Polydipsia
	inhibited urination	小便不利	2.3.193	R34	Anuria and oliguria
	spontaneous urination	小便自利	2.3.191		
	difficult urination	小便難	2.3.192	N13.9	Obstructive & reflux uropathy, unspecified
6.10	abdominal signs	腹部症状			
	gastric stuffiness	心下痞	3.1.83		
	fullness below the heart	心下滿	2.3.151		
	nausea	嘔氣, 惡心	2.3.130	R11	nausea and vomiting
	vomiting	嘔吐	2.3.132	R11	nausea and vomiting
	retained food	宿食, 宿穀	2.3.136		
	borborigmus	腹中雷鳴	2.2.22	R14	Flatulence & related conditions
	torpid intake	disturbance of appetite	2.3.117	R63.0	Anorexia
	aggregation-accumulation	食欲不振 積聚	3.1.165	R19.0	Intra-abd & pelvic swelling, mass & lump
	lower abdominal colic	疝	2.3.68	R10.4	Other and unspecified abdominal pain
	abdominal fullness	腹滿	2.3.159		
	spontaneous diarrhea	自下利	2.3.170	K52.9	Noninfective gastroenteritis & colitis.unspec
	sloppy diarrhea	瀉泄	2.3.181		sloppy stool
	diarrhea with exterior heat	協熱痢			
	tenesmus	裏急後重	2.3.176	R19.8	Other spec symp/signs dig sys & abdomen
6.11	jaundice	黃疸	3.1.100	R17	Unspecified jaundice
	neurological signs	神經症状			
	generalised pain	疼痛	2.3.56	R52.9	Pain, unspecified
	pulling pain	掣痛	2.3.79		
	generalized throbbing pain	身疼痛	2.3.57		
	distending pain	腫痛	2.3.73		

資料1 漢方の証コード

	listless extremities		四肢沈重				
	spasm		攣急	2.3.91			
	muscular twitching and		筋惕肉潤	2.3.100	R25.3	Fasciculation	
	contracture		拘急	2.3.92	contracture		
	muscle cramp		轉筋		R25.2	Cramp and spasm	
	epilepsy		癇瘧	3.4.39	R56.8	Other & unspecified convulsions	
	numbness		麻木・不仁	3.1.73	R20.8	Other & unspec disturb of skin sensation	
6.12	insensitivity		身體不仁	2.3.99	insensitivity	R20.8	Other & unspec disturb of skin sensation
	skin signs		皮膚症状				
	encrusted skin		皮膚甲錯	2.1.29			
	dry skin		枯燥		L85.3	Xerosis cutis	
7	miscellaneous		その他				

W id	TM code	Term	Chinese	IST	Definition/Description
1	a	Internal Medicine	内科	3.1.0	
2	a1	common cold	感冒	3.1.7	affliction of the lung-superficies by pathogenic wind, mainly manifested as fever, chills, headache, general aching, congested nose, sneezing, itching throat and cough
3	a1.01	unspecified common cold	感冒		
4	a2	influenza	時行感冒	3.1.8	a disease attributable to invasion of the lung-superficies by an epidemic pathogen that causes acute fever, sore throat, headache and general aching
5	a3	dysentery	痢疾	3.1.10	a disease characterized by abdominal pain, tenesmus, diarrhea with stool containing mucus and blood
6	a3.01	epidemic toxin dysentery	疫毒痢	3.1.11	severe case of dysentery characterized by acute onset of high fever, headache, severe abdominal pain, frequent stools containing blood and mucus, and even loss of consciousness with convulsions or reversal cold of the limbs and cyanosis
7	a3.02	intermittent dysentery	休息痢	3.1.12	chronic dysentery with frequent relapse
8	a3.03	food-denying dysentery	噤口痢	3.1.13	severe case of dysentery with utter loss of appetite and vomiting upon eating and drinking
9	a4	cholera	霍亂	3.1.14	a disease characterized by sudden onset of simultaneous vomiting and diarrhea with the vomitus and stool like rice water, referring to acute gastroenteritis, food poisoning and cholera
10	a4.01	unspecified cholera	霍亂		
11	a4.02	dry cholera	乾霍亂	3.1.15	an acute illness characterized by sudden onset of abdominal colic and epigastric oppression accompanied by desire but failure to vomit and desire but failure to defecate
12	a5	malaria	瘧：瘧疾(病)	3.1.16	a disease attributed to contraction of malarial parasites, marked by paroxysms of shivering chills, high fever and sweating, also known as malaria-like disease
13	a5.01	dampness malaria	濕瘧	3.1.17	malaria complicated by dampness, manifested as paroxysms of chills and unrefreshed fever, accompanied by impaired sweating, nausea, vomiting, anorexia, slimy tongue coating and relaxed pulse
14	a5.02	warm malaria	溫瘧	3.1.18	malaria with higher fever and lower chills than an ordinary attack, accompanied by inhibited sweating and dire thirst
15	a5.03	cold malaria	寒瘧	3.1.19	malaria with higher chills and lower fever or even no fever, no sweating, and absence of thirst
16	a5.04	taxation malaria	勞瘧	3.1.20	chronic malaria with mild chills and fever, and with attacks being brought on by fatigue
17	a5.05	miasmic malaria	瘴瘧	3.1.21	severe malaria with loss of consciousness or jaundice

Wid	TM code	Term	Chinese	IST	Definition/Description
18	a6	pestilence	瘟疫	3.1.23	a general term for virulent infectious epidemic diseases
19	a6.01	erysipelas facialis	大頭癰	3.1.24	an acute infection of the face marked by high fever and local redness, swelling, hotness and pain
20	a6.02	spring warmth	春溫	3.1.27	a warm disease contracted in spring
21	a6.03	wind-warmth	風溫	3.1.28	a warm disease attributable to contraction of wind-heat pathogen
22	a6.04	dampness-warmth	濕溫	3.1.36	a warm disease attributable to contraction of dampness-heat pathogen
23	a6.05	yin toxin	陰毒	3.1.37	a disease characterized by erythema and bluish facial complexion, accompanied by generalized pain and sore throat
24	a6.06	yang toxin	陽毒	3.1.38	a disease characterized by erythema bright in color, accompanied by sore throat and spittle with bloody pus
25	a7	summerheat damage	傷暑	3.1.31	a general term for various conditions caused by summerheat, especially for mild cases of heatstroke and sunstroke
26	a7.01	summerheat stroke	中暑; 暈	3.1.29	an acute febrile disease attributable to contraction of summerheat, the same as heatstroke
27	a7.02	summerheat affliction	冒暑	3.1.30	common cold in summer
28	a7.03	latent summerheat	伏暑	3.1.32	an acute febrile disease caused by latent summerheat or summerheat-dampness pathogen, occurring in autumn or winter
29	a7.04	summerheat convulsions	暑癇	3.1.33	a type of severe summerheat stroke in summer with loss of consciousness and convulsions
30	a7.05	summerheat-warmth	暑溫	3.1.34	a warm disease attributable to contraction of summerheat pathogen
31	a7.06	summerheat-wind	暑風	3.1.35	a disease marked by sudden onset of opisthotonos and convulsions caused by summerheat
32	a8	cough	咳嗽	3.1.39	(1) the expelling of air from the lungs suddenly with an explosive noise or expectoration of sputum; (2) any disease mainly manifested by cough
33	a8.01	dry cough	乾咳	3.1.40	cough with no or little expectoration
34	a8.02	fifth-watch cough	五更咳	3.1.41	cough occurring or exaggerated daily just before daybreak
35	a8.03	lung cough	肺咳	3.1.42	cough due to ascending counterflow of lung qi
36	a9	wheezing	哮喘	3.1.44	difficult and labored breathing with a whistling sound
37	a9.01	cold wheezing	寒哮喘; 冷哮喘	3.1.45	a type of asthma due to cold-phlegm obstructing the airway, marked by dyspnea with wheezing, cough with thin mucous expectoration, fullness and oppression in the chest, whitish and slippery tongue coating, and floating tight pulse
38	a9.02	heat wheezing	熱哮喘	3.1.46	a type of asthma due to retention of heat-phlegm in the lung, marked by dyspnea, wheezing, thick and yellowish expectoration, flushed face, thirst, reddened tongue with yellow slimy coating and rapid slippery pulse

Wid	TM code	Term	Chinese	IST	Definition/Description
39	a10	dyspnea	喘	3.1.47	difficult and labored breathing
40	a10.01	dyspnea of excess type	實喘	3.1.48	dyspnea caused by external contraction, marked by rapid, forceful and coarse breathing with acute onset and short duration
41	a10.02	dyspnea of deficiency type	虛喘	3.1.49	dyspnea due to insufficient lung and kidney qi, marked by shortness of breath and dyspnea upon exertion, usually gradual on onset and chronic in nature
42	a11	lung atrophy	肺萎	3.1.196	a disease of the lung due to chronic cough, marked by atrophy of the lung with shortness of breath and expectoration
43	a12	lung distention	肺脹	3.1.52	a disease of the lung characterized by persistent distension of the lung, manifested by a sensation of pressure in the chest, chronic cough and expectoration, shortness of breath or dyspnea, cyanotic lips and tongue
44	a13	lung abscess	肺癰	3.1.53	abscess occurring in the lung due to heat toxin, marked by sudden onset of fever, cough, chest pain, expectoration of foul-smelling bloody purulent sputum
45	a14	lung consumption	肺癆	3.1.54	a consumptive disease due to overstrain, characterized by cough, hemoptysis, tidal fever, night sweating and emaciation
46	a15	plum-pit qi	梅核氣	3.1.55	a disease characterized by a sensation of a foreign body present in the throat which can be neither swallowed nor ejected, also known as globus hystericus
47	a16	fright palpitations	驚悸	3.1.56	palpitation ascribed to being frightened
48	a17	fearful throbbing	怔忡	3.1.57	a severe case of palpitation
49	a18	chest impediment	胸痹	3.1.58	a disease characterized by paroxysms of pectoral pain, sometimes accompanied by a feeling of oppression
50	a19	chest bind	結胸	3.1.59	a diseased state attributable to accumulation of pathogens (such as heat or cold in combination with retained fluid or phlegm or stagnant food) in the chest and abdomen, often manifested by local rigidity, fullness and tenderness, also the same as chest constriction
51	a20	heart pain	心痛	3.1.60	a general term for pain in the precordial and epigastric regions
52	a20.01	sudden heart pain	卒心痛	3.1.61	sudden attack of heart pain due to contraction of pathogenic heat
53	a20.02	true heart pain	真心痛	3.1.62	a disease characterized by sudden occurrence of severe heart pain accompanied by sweating, pale complexion, cyanotic lips, cold limbs with the hands and feet turning blue up to the joints, and hardly perceptible pulse
54	a21	dizziness	眩暈; 頭暈; 眩 眩	3.1.63	a diseased state characterized by a whirling sensation in the head with visual distortion

W id	TM code	Term	Chinese	IST	Definition/Description
55	a22	loss of consciousness	神昏	3-1.64	any diseased state characterized by loss of consciousness with no response to stimulation
56	a23	apoplectic wind stroke	類中風	3-1.65	cerebral stroke caused by endogenous pathogenic wind
57	a23.01	prodrome of wind stroke	中風前兆症	3-1.66	symptoms indicating the onset of wind stroke, such as headache and dizziness, numbness and weakness of the limb
58	a23.02	sequela of wind stroke	中風後遺症	3-1.67	functional disturbances following an attack of wind stroke, such as hemiplegia, dysphasia and dementia
59	a23.03	collateral stroke	中絡	3-1.68	mildest form of wind stroke with slight distortion of the face and numbness of limbs
60	a23.04	meridian stroke	中經	3-1.69	mild form of wind stroke with hemiplegia, paralysis of the face and limbs, dysphasia, but no impairment of consciousness
61	a23.05	bowel stroke	中腑	3-1.70	serious form of wind stroke with onset of fainting, hemiplegia, distortion of the face and dysphasia
62	a23.06	visceral stroke	中臟	3-1.71	very serious form of wind stroke with sudden loss of consciousness, aphasia, and paralysis of lips with salivation
63	a23.07	hemiplegia	半身不遂; 偏枯	3-1.72	paralysis of one side of the body
64	a24	deviated eye and mouth	口眼喎斜	3-5.54	deviation of one eye and the mouth to one side with the eye unable to close and salivation from the homolateral corner of the mouth
65	a25	insomnia	不得臥; 失眠	3-1.74	prolonged inability to obtain normal sleep
66	a26	dementia	痴呆	3-1.76	diseases characterized by marked decline of cognitive and intellectual functions, usually progressive, without loss of perception or consciousness
67	a26.01	forgetfulness	健忘	3-1.75	poor memory; tendency to forget matters, the same as amnesia
68	a26.02	unspecified dementia	痴呆		
69	a27	epilepsy	癇病; 癇疾; 癇病	3-4.39	a disease characterized by temporary loss of consciousness with foaming at the mouth and convulsions of the limbs, and return to normal after the episode
70	a27.01	yang epilepsy	陽癇	3-1.77	epilepsy of yang nature, characterized by paroxysmal transient loss of consciousness, seizures, upward staring of the eyes often preceded by vocalizations
71	a27.02	yin epilepsy	陰癇	3-1.78	epilepsy of yin nature characterized by transient clouding of consciousness without convulsions
72	a28	depressive psychosis	癲病	3-1.79	a psychotic disorder characterized by severe depression
73	a29	manic psychosis	狂病	3-1.80	a psychotic disorder characterized by mental and physical hyperactivity, disorganization of behavior, and elevation of mood